

教育心理研究部門

「社会性と感情教育」研究部会（第34回）

日時：2018年4月23日（月）11：30～15：30

場所：野間教育研究所 2階閲覧スペース

出席：渡辺弥生・飯田順子・小林朋子・大森美香・藤枝静暁 各兼任研究員
吉久知延所長・金沢千秋・泉水里香・鈴藤益弘

内容：（1）今後の進め方について打ち合わせ：渡辺弥生氏より“紀要のまとめ方・進行”についての提案があり、次回から研究会の度毎に、以前に仮決定された紀要案に沿って、二人ずつ紀要内容を発表していくことになった。

- * 次回からの発表予定者：6月4日（月） 藤枝静暁・大森美香
- 7月2日（月） 小林朋子・渡辺弥生
- 8月27日（月） 飯田順子・藤枝静暁
- 9月10日（月） 大森美香・小林朋子
- 10月22日（月） 渡辺弥生・飯田順子
- 11月19日（月） 大森美香・藤枝静暁
- 12月10日（月） 小林朋子・渡辺弥生・飯田順子

（2）飯田順子氏より報告：前回までに集計された「光村図書」と「東京書籍」の国語教科書に表出した感情語の種類（ポジティブ/ネガティブ/ニュートラル）と出現頻度について、第一次の分析が報告された。

- ・両社の教科書とも4年生においてネガティブな感情語の使用が顕著に多く、ポジティブ対ネガティブの逆転現象が見られるのが特徴的。今後とも分析を重ねる。

（3）小林朋子氏より紀要担当分の構想と、以下の論文紹介があった

- ・小澤永治「思春期における不快情動への態度とストレスの関係」（2010年、『心理学研究』81（5）、501-509）

（4）紀要の進行について。

- ・2019年3月末までに脱稿→2019年度中（2020年3月迄）に刊行を目指す。

・次回以降の研究会は、上記内容(1)の日程で、午前11時30分～15時を予定。